

神戸空港サブターミナル（仮称）整備事業
落札者決定基準

令和 5 年 2 月
神戸市

第1 審査の概要

1 落札者決定基準の位置づけ

本落札者決定基準（以下「本書」という。）は、神戸市（以下「市」という。）が神戸空港サブターミナル（仮称）整備事業（以下「本事業」という。）の落札者を決定するに当たり、最も優れた提案者を選定するための手順、方法及び審査基準等を示したものであり、入札に参加しようとする者に交付する入札説明書等と一体のものとして扱う。

2 審査方法の概要

本事業を実施する事業者には、施設整備、維持管理及び運営に係る幅広い専門的な知識や技術、ノウハウが求められる。このため、落札者の決定に当たっては、入札参加者の資格、実績といった事業遂行能力を確認する「資格審査」と、資格審査を通過した入札参加者から提出された事業者提案書の技術提案と入札価格を総合的に審査する「提案審査」によって落札者を決定する一般競争入札（総合評価落札方式）を採用するものとする。

なお、資格審査は、入札に参加できる有資格者を選定するためのものであり、提案審査に資格審査の結果は影響しない。

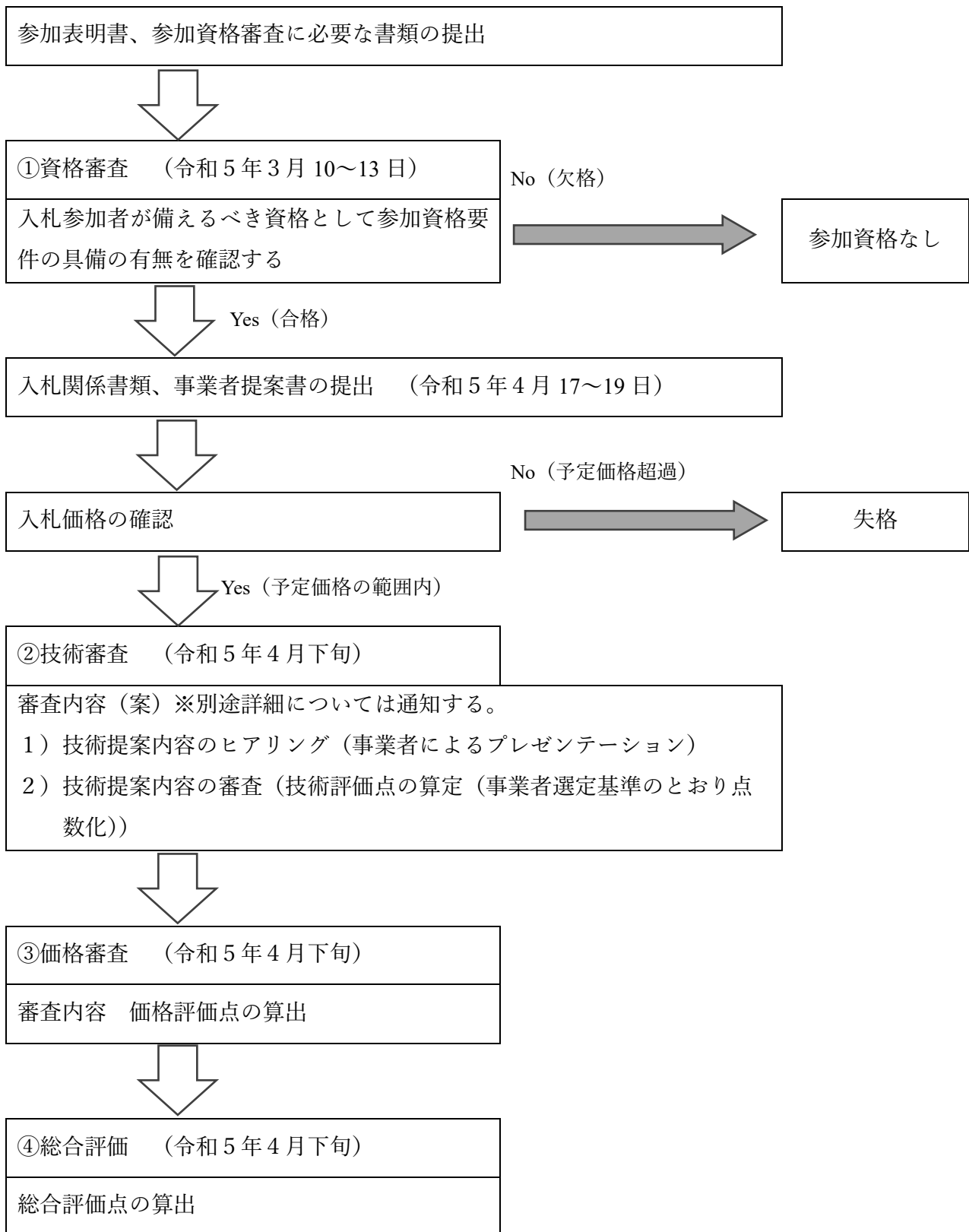
また、本事業は WTO 政府調達協定（平成 6 年 4 月 15 日マラケシュで作成された政府調達に関する協定（平成 7 年条約第 23 号）、以下「WTO 協定」という。）の対象事業であり、「地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令」（平成 7 年政令第 372 号）が適用される。

3 選定委員会の設置

提案審査に関しては、とりわけ幅広い専門的見地からの意見を参考とするために、学識経験者等により構成される「神戸空港サブターミナル整備事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置し、提案内容の評価に関して委員の意見を聴取する。選定委員会は、各入札参加者の提案内容について審査した結果と付帯意見を市に答申する。市は、この答申を踏まえ、落札者を決定する。

なお、選定委員会の付帯意見については、落札者はこれを遵守すること。

4 審査の手順



第2 資格審査

資格審査では、入札参加者が入札に参加するに当たって備えるべき資格要件及び本事業の遂行に必要な能力があると認められるに値する実績等を有しているかどうかの審査を行う。

具体的には、入札説明書「7章 その他 7-1 市における競争入札参加資格の審査」に定める参加資格要件を満たしていることを確認する。

審査結果は、入札参加希望者に一般競争入札参加資格確認結果通知書により通知する。

なお、当該資格が無いと認めた者に対しては、その理由を付して通知する。

第3 提案審査

提案審査では、市による入札価格の確認の後、選定委員会で技術提案内容の審査を行う、加算点審査を実施する。

1 入札価格の確認

入札参加者が提示する入札価格が、市の設定する予定価格（入札説明書を参照）を超過していないか、確認を行う。入札価格が予定価格を超える場合は、その入札参加者は失格とする。

2 技術提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングの実施

選定委員会は、入札書類を提出した入札参加者を対象に技術提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングを次のとおり実施する。

（1）プレゼンテーション及びヒアリングは、令和5年4月下旬を予定。実施日時、実施場所及び実施方法など詳細については、入札参加者に別途通知する。

（2）選定委員会は、入札参加者の技術提案に関する質疑応答を行う。

3 技術提案審査の実施

選定委員会は、技術提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングを実施した後、技術提案書に記載された内容について、以下の審査基準に基づいて審査を行い、技術評価の点数（以下「技術評価点」という。）を決定する。ただし、技術審査項目に定める配点を合計した値の6割を最低基準点とし、その点数未満の入札参加者は失格とする。

(1) 技術審査の審査項目と配点

| 審査項目 | | 評価項目 | 配点 (点) | |
|-----------|------------------------------------|--|--------|-----|
| 全体計画 | コンセプト | ○基本認識 ○基本計画の実現方策 ○現行ターミナルとの連携 | 60 | 180 |
| | 配置計画・ 外構計画 | ○ランドスケープ ○建物配置・外構動線計画 ○外構計画 | 60 | |
| | 意匠・景観 | ○外観デザイン ○内部空間デザイン ○夜間景観計画 | 60 | |
| 施設計画 | 平面計画・ セキュリティ | ○快適な旅の実現に向けた施設計画 ○施設内動線計画・セキュリティ計画 ○にぎわい空間の配置 ○店舗の配置計画 ○需要の変化に対応する計画 | 100 | 380 |
| | 機能性・快適性 | ○展望機能の配置 ○サイン計画 ○ユニバーサルデザインに対応する方策 ○木材の利用 ○バイオフィリックデザインを取り入れる提案 ○空港のIT化への対応 | 120 | |
| | 環境配慮・ 省エネルギー・ カーボン ニュートラル | ○省エネルギー (CASBEE 神戸 A ランク以上、ZEB Ready 以上) ○先進的、効果的な自然エネルギー及び再生可能エネルギーの利用 ○環境配慮に関する取組みの見える化 ○ライフサイクルコストを踏まえた維持管理計画 ○施工時における環境負荷低減 | 100 | |
| | 広域防災・ 拠点機能 | ○構造計画 ○地盤変形への対策 ○BCP 対応 | 60 | |
| 設計・ 施工 | 実施体制表・ 業務計画・ 工程管理・ コスト抑制 | ○実施体制 ○地元企業の活用 ○工期短縮、コスト抑制につながる技術的提案 | 60 | 60 |
| 合計点 | | | | 620 |

(2) 得点の計算方法

審査においては、(1) の評価項目を考慮して各入札参加者の提案内容を評価し得点化するが、その際の計算方法については、次の6段階の評価ランクを設定し、審査項目別に当該提案内容の評価ランクに応じた得点を付与する。

なお、要求水準書及び提案の要件を満たしていない場合、事業者提案書の全部又は一部に記載漏れがあり適正な評価ができない場合又は指定様式の指定枚数を超えて提案した場合は、当該評価ランクの技術評価は「X判定」となる。

【表 評価ランクに基づく得点計算方法】

| 評価ランク | | 得点 |
|-------|----------|----------------|
| A | 非常に優れている | 当該項目の配点 × 100% |
| B | 優れている | 当該項目の配点 × 80% |
| C | 普通 | 当該項目の配点 × 60% |
| D | やや劣っている | 当該項目の配点 × 40% |
| E | 劣っている | 当該項目の配点 × 20% |
| X | 不適 | 当該項目の配点 × 0% |

第4 価格審査

価格審査では、入札参加者が提示する入札価格について、次の算式により「価格評価点」として点数化する。

$$\text{価格評価点} = (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格}) \times \text{価格評価点の配点 (80点)} + 50 \text{点}$$

※ただし、80点を超える場合は、80点を上限とする。

第5 総合評価

1 総合評価の手順

総合評価は、技術提案内容に対する評価の得点（技術評価点 620 点満点）と入札価格に対する評価の得点（価格評価点 80 点満点）を合算し、総合評価点を算出する。総合評価点（700 点満点）に基づいて入札参加者の順位付けを行い、最終的に市において落札者を決定する。

なお、総合評価点が最も高い者が2者以上ある場合は、技術評価点の高い者を最高順位とし、更に技術評価点も同点である時は、くじ引きにより順位を決定する。

2 総合評価点の計算方法

総合評価の算出は、次の計算式による。

$$\text{総合評価点} = \text{技術評価点} + \text{価格評価点}$$